

理事長報告 大阪府社会福祉大会

理事長 野間田徹

11月29日(水)に大阪国際交流センターで令和5年度大阪府社会福祉大会が開催されました。大阪府社会福祉協議会の主催で、福祉の活動に貢献した団体や個人、福祉施設で長年勤務した職員を表彰するものです。

受賞された団体、個人の皆様には、地道な活動に心から敬意を表するものです。

今回は、社会貢献事業(生活困窮者レスキュー事業)20周年を記念して、全国社会福祉協議会会長村木厚子さんの「困難を乗り越えて～包括的な支援をめざす～」というテーマでの講演がありました。

村木さんは、冤罪で大阪拘置所に164日1年3ヶ月拘留されていました。その当時の経験やその後のNPO活動を振り返って、色々な気づきのお話がありました。実は、私が村木さんのお話を聞くのは、今回が2回目で、最初は、九州で開催された研修会で、村木さんがまだ現役でバリバリ仕事をされていた時代で、制度について理路整然と説明されていました。それが、今回は、打って変わって、ところどころ笑いもあり、柔らかい物腰でやさしい雰囲気にも包まれていました。

自らの拘置所での体験からは、プロの支援を受けて「伴走型支援」のありがたさを実感したとのことでした。また、キーワードとして「つなぐ」をあげられました。以前は、「役所として何をすべきか」という考えを強く持っていたが、今は、「みんなで何ができるか」という考えに変わったとのことでした。

大変良い話を聞くことができ、とても充実した一時でした。

